

「岐阜の力に」誓い新た

県内褒章受章者、喜びの声

地域への貢献、業界の発展を願う一心だった。秋の褒章の受章者はこれまでの歩みを振り返り、喜びをかみしめ、明日への変わらぬ思いを語った。



「地域の皆さまの長年にわたる支援のたまもの」と話す高橋征利さん＝岐阜市神田町、岐阜信用金庫本部

岐阜信用金庫理事長
高橋征利さん(67)

「地域の皆さまの長年にわたる支援のたまもの。創立以来、岐阜に根差した金融業務に携わり、地域経済の発展に貢献してきた岐阜信用金庫に対する励ましと受け止めている」と謙虚に喜ぶ。

1971年に入庫し、主に企画畑を歩んできた。「地域と共存共栄する」がモットー。2009年に理事長に就任以降、人口減少や少子高齢化

黄綬褒章
業務精励

地域と生きるが信条



「体力の続く限り続けていきたい」と話す林孝平さん＝加茂郡八百津町潮見

環境美化奉仕者
林 孝平さん(77)

20年以上、毎日のように近所の道路を掃除するボランティアを続けている。自作の竹ぼうきは年間20本程度を費やす。

農協を退職して間もない1995年4月から始めた。場所は旧道の国道418号。「仕事で毎日通っていたが、道幅が狭くて視界が悪かった。少しでも通りやすくしたいと思った」のがきっかけだ

緑綬褒章
社会奉仕活動功績

「住民の声が励まし」

った。

2010年からはバイパスで草刈りをしたり、ごみを拾い集めたりしている。夏は汗で全身がびしょぬれになるが、「通り掛かりの人が声をかけてくれたり、クラクションを鳴らしてあいさつしてくれたりする。それが励まし。体力の続く限り続けたい」。

受章を「身に余る章をいただき誠に光栄。いつもご声援をいただいた地域の方々に心から厚くお礼申し上げます」と喜ぶ。加茂郡八百津町潮見。